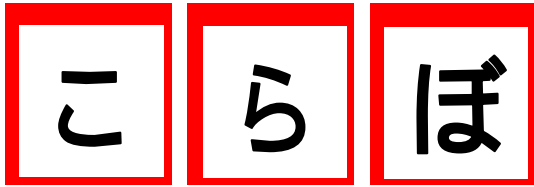


こくぶんじ協働ニュース



- 1面 講座・団体交流会のご案内他
- 2面 貸付利子補給募集, 活動報告
- 3面 NPOの現場から, 蔵書紹介
- 4面 団体紹介, お知らせ他

発行 こくぶんじ市民活動センター
発行日 平成24年1月4日

 **明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。** 

スキルアップ講座

★ 市民活動団体スキルアップ講座(第2回) 「国分寺の協働事業のこれから」 ★

市民活動団体支援の一環として、団体の活動の発展に役立つ講座を実施しています。今回は、講師から国分寺市と市民活動団体(NPO)の協働事業の現状とこれからについて、課題や展望を示していただきます。市民活動団体はもちろん、協働事業や「新しい公共」に興味のある方はぜひご参加ください。

講師：塚本 一郎さん(明治大学経営学部教授 / 国分寺市協働事業審査会会長)
日時：平成24年1月31日(火)午後2時~4時
会場：本多公民館ホール(国分寺駅北口徒歩8分)
参加費：無料 定員：70名(先着順)

*この講座に参加希望の方は **1月25日(水)まで**にセンターへお申込みください

団体交流会

★ 登録団体交流会(第9回) ★

今年度は「活動分野別」と「テーマ別」で団体交流会を開催しています。これまでの「活動分野別」交流会では、座談会形式で様々なことを話し、同じ活動分野の団体間で交流を図ってきました。今回は「テーマ別」での交流会を開催します。テーマは「今後の協働について」。市民活動センター登録団体の方ならどなたでも参加できますので、どうぞお気軽にご参加ください。

日時：平成24年1月18日(水)午後3時~5時
場所：市民活動センター

市民活動フェスティバル 準備中!

現在、第6回市民活動フェスティバル実行委員会は、5月20日(日)にひかりプラザで行うフェスティバルの準備を進めています。参加予定団体は24団体です。新規参加の団体も3団体あり、各団体が展示やパフォーマンスの企画を検討中です。

今回は、フェスティバルのキャッチフレーズを作りました。

つなげよう 市民の輪

参加団体の活動やその思いを、フェスティバルに来ていただいたみなさんに知っていただき、より大きな輪になることを期待しています!

「市民活動団体活動支援・事業支援貸付利子補給金」の交付申請を受け付けます

市民活動を行う際に金融機関から活動資金や事業資金の融資を受けた（受けている）ことはありませんか？市では、市民活動団体の健全な運営や活動を促進し、市民活動の推進を図ることを目的に、金融機関から融資を受けた利子を補給する制度があります。

- 【対象】 利子補給の対象となる融資は 500 万円以下で、かつ、年利が 5 %以下の市民活動団体の活動・事業支援を目的としたものです。
- 【補給対象】 市民活動団体が毎年 4 月 1 日から翌 3 月 31 日までに償還した利子額の 60% です。
- 【補給期間】 融資を受けた資金の償還開始の日から起算して 5 年です。
- 【対象団体】 こくぶんじ市民活動センター利用登録団体で、金融機関から対象となる融資を受けた団体です。
- 【申請期間】 平成 24 年 1 月 16 日（月）～ 2 月 29 日（水）まで
土日・祝日を除く午前 8 時 30 分から午後 5 時。
- 【申請方法】 所定の申請書に、必要書類を添えて協働コミュニティ課へご提出ください。
- 【問合せ先】 協働コミュニティ課協働推進係 TEL：042-325-0111（内線 363）

詳細は協働コミュニティ課で配布する申請要項をご覧ください。市および市民活動センターホームページからもダウンロードできます。

《 報告！『市民活動きっかけづくり入門講座』 はじめよう！地域の見守り助け合い-高齢者福祉- 》

12 月 2 日（金）と 12 月 20 日（火）に「高齢者福祉」をテーマとした 2 回連続講座の市民活動きっかけづくり入門講座（パート 3）を、国分寺 L ホールで開催しました。

初回は、市の福祉保健部高齢者相談室の職員から、国分寺市の高齢者の現状報告や地域包括支援センターなどの説明をしていただきました。その後、福祉分野で活動をしている団体の話題提供者から、それぞれどんなきっかけで活動を始めたのか、どのような活動をしているのかの話をしていただきました。

パート 3「高齢者福祉」の連続講座では、初回、2 回目を通して話題提供者としてテーマに沿った活動を行っている NPO 法人健康体操指導ワーカーズの小川さん、NPO 法人すまいるの小野さん、介護保険サポーターズ国分寺の木田さん、NPO 法人生き活きの守江さんにご協力いただきました。ありがとうございました。

参加者は、「地域にずっと住み続けていくうえでの課題・問題点は何か」という題目で、初回は 5～6 人のグループに分かれてワークショップ方式で、2 回目は 3 つのテーブルに分れてワールドカフェ方式で、さらに意見交換をしました。

初回には 100 を超える身近なところにあるいろいろな課題や問題が出され、2 回目ですらに意見交換を行うことで少し解決策が見えてきました。あとは、それを具体的に解決するための方法と人材を見つけることだと思います。

今回の高齢者福祉に限らず、身近にあるさまざまな課題や問題について、いろいろな角度からちょっと考えてみたり、既存の団体の活動に参加してみたり、個人でできる事もあるかもしれません。

どんな形でも・・・どんなことでもいいので、身近なことから何か市民活動をやってみませんか？



市民活動なんでも相談 へようこそ

市民活動センターでは、月に 1 回「市民活動なんでも相談」を開いています。下記の事例は、市民活動相談から生まれた成果です。また今年度は NPO 法人設立の相談を受けた団体の 1 つが法人認証を受けることができました。ぜひ、お気軽にセンターの「市民活動相談」をご利用ください。



市民活動センター登録団体の「英語絵本読み聞かせ ポップアップ」さんは、まだ誕生したばかりのグループです。

今年 7 月の「市民活動相談」に来られ、「活動の幅を広げるために英語絵本の読み聞かせの“出前”を行いたい」という相談をお受けしました。そこでセンターでは、市の子育て支援課を通して市内の児童館をご紹介します。団体と児童館の間でのマッチングがうまく成立。そして、11 月 18 日に第 1 回目となる読み聞かせが本多児童館で行われました。

その日は『はらぺこあおむし』として子どもたちもよく知っている『The Hungry Caterpillar』など 3 冊の英語絵本でした。初回でもあり、団体のメンバーの方もドキドキだったそうですが、キラキラした子どもたちの視線に次第に場がなごみ、子どもたちも大きな声で英語でかけ声をするなど、いい雰囲気になりました。「継続して行ってほしい」と児童館からも頼まれたそうです。

国分寺市を拠点とする
NPOの活動取材録

シリーズ・NPOの現場から

第28回 ~災害に強い、安心安全なまちづくり~ 泉町三丁目地区連合自治防災会

泉町三丁目地区連合自治防災会(8自治会、2管理組合、930世帯)は、昭和58年9月の設立以来27年間、「災害に強い、安心安全なまちづくり」を合言葉に活動を続けています。その中で、平成21年に防災に関しての数々の賞を受けられたことにより「平成21年度防災功労者内閣総理大臣賞」を受賞されました。この賞はその年に防災活動を行なった官民諸団体の中から選出されるもので、民間団体部門では全国で4団体が受賞したそうです。その後、住民の自主防災に注目した他の地方自治体や防災団体からの講演依頼やシンクタンクからの取材などにも協力したことで、たくさんの方に活動を知ってもらうことができました。

活動を継続してこられたポイントは「市民による自主防災会としては形が整っていること」、つまり会則による運営や地域防災計画書を作成し、活動の原点にしていることなどです。継続して活動するリーダーが多いくることも大きいそうです。

また防災事業だけでなく、防犯、お祭り、清掃、環境など地域の活動に積極的にかかわり参加してきたことで、地域のコミュニティ「地域力」作りのカナメになっています。特に、防災会役員が積極的に関わる「ふるさと子ども祭り」は、地域や人と人とのつながりに、さらには防災活動へのつながりに欠かせない行事になっているそうです。

「なぜ、多くの方が関わっていただけるのですか?」とお聞きしたところ、「活動に参加していると、ひとつの活動だけでなく、いくつにも関わっていく状況が生まれるので、いろいろなつながりができていくのではないかと。

また、「住んでいるこの町をさらに安全・安心な町へ」の思いが支えているのではないのでしょうか」とのことでした。

同会の活動拠点は泉町にある多喜窪公会堂で、災害時には隣接する多喜窪公園に地区本部を設置するそうです。放水に使う可搬式ポンプも持っていて、消防署と共催で毎年秋に行われる「防災コンクール」では、地域にある事業所、お店、友好団体等が参加し、地域を挙げての防災訓練になっているそうです。

毎月発行している防災ニュースは来春には300号に達します。これからも地域の皆さんの支えとなっていけることでしょう。

<連絡先>野口誠一 TEL/FAX : 042-323-2278



センター蔵書紹介コーナー



書籍名:「人が集まる!行列ができる!講座、イベントの作り方」

著者:牟田静香 発行:講談社

夫の転勤で東京都大田区に移り住んだ著者が、大田区の男女平等推進センター「エセナおおた」での活動で得た自らの実務経験に基づいて、どうしたら人が集まる講座になるか、人が集まるイベントのチラシの作り方はどんなスタイルが受け入れられるか、丁寧に解説しているのが本書です。

実際に作ったチラシの失敗事例と成功事例を図版と解説を使って分かりやすく、ひも解いてあるので、イベントの企画を初めて担当する人、コンセプトやマーケティングなどの分野に馴染みのない方でもスイスイと読み進んでいけるとおもいます。お勧めの一冊です。



団体紹介コーナー

団体紹介
随時募集中!

自立生活体操をひろめる会

自立生活体操をひろめる会は、今年7月に10年目を迎えました。高齢者といわれる年代になっても健康で毎日を明るく、楽しく、生き生きと生活していくことができ、東日本大震災のような時でも、自力で対応できる体力が必要だと感じています。そのためには、日頃から身体を鍛えることが必要で、自立することは自分の喜びばかりでなく周りの人達のためにも大切なことです。私達は、年齢とともに変化する身体に対して効率良く体力をつける指導法を持つ、NPO法人健康体操指導ワーカーズの「自立生活体操公認指導員」による体操を各地域で実施しています。

この3年間には、提案型協働事業「身体活動を習慣化させる介護予防体操教室」に参加した方々で、新たに10クラブが誕生し、現在27クラブ401名になりました。自主クラブですから会場の確保、月会費の徴収、代表者の選出などすべて手作りで運営しています。各クラブ毎の人数は7名~33名と幅がありますが、誰もが何処でも同じ指導を受けられるように「ひろめる会」をつくりました。年1回総会を開催し、運営方法などの情報交換をしてお互いの活性化を図っています。自立した高齢者自身から「健康維持には運動が必要」であることを普及させる活動を、みんなで継続していきたいと思っています。



<連絡先>
会長 綾部 昭子
事務局
042-329-1227



お知らせ



印刷機の利用基準について(再掲)

7月および10月発行の「こらぼ」でもお知らせしましたが、昨年8月より下記のとおり、印刷機の利用基準について一部変更しました。

【変更点】

(旧) 印刷機の利用は年間120製版まで

(新) 印刷機の利用は一団体

年間120製版・印刷10,000枚まで



掲示物の掲示(配架)の注意事項

市民活動センターでは、市民活動団体が活動のPRに活用いただけるよう、市内の地域センター、公民館と、ボランティア活動センターこくぶんじ内に掲示板を設置し、登録団体が行う講座やイベント等のチラシを掲示することができます。

また、市民活動センター内のみとなりますが会報誌等の配架も可能です。

いずれの場合も、利用するには、利用申請書への記入・提出が必要です。利用に関する詳細は、市民活動センターまでお問い合わせください。

登録更新のお願い

市民活動センターでは、常に最新の情報を皆さまに提供するため、毎年1回春から初夏にかけて、利用団体登録の更新作業を行っています。

今年も次号こらぼに同封して、**登録更新の申請書類をお送りします**ので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



編集後記

ブログでもお知らせしましたが、「こらぼっち新聞」をセンター内に掲示しています。活動報告や講座のお知らせなどなど。情報盛りたくさん。センターにお立ち寄りください。

スタッフ一同
お待ちしております。



来年度の開館日について

市民活動センターは平成24年4月より平日のみの開館となる予定です。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご了承ください。

発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(国分寺市役所 協働コミュニティ課)

〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1 第三庁舎1階

042-208-3636 / Fax 042-208-3637

e-mail kccpc@jcom.home.ne.jp

http://members3.jcom.home.ne.jp/collabo-kokubunji/

開館時間 平日9:00~17:00 土日祝日9:00~13:00 年中無休

(ただし年末年始を除く)

平成24年1月4日発行

